

「藍テラス」が完成



完成したビルの外観

東京都青梅市の青梅駅前地区市街地再開発組合（林薫理事長）が建設していた再開発ビル「藍（あお）テラス」が完成した。施設は共同住宅や図書館、商業施設が入る本体棟と、駐車場棟で構成し、2棟総延べ1万3797平方メートルの規模。設計と監理を南條設計室が担当し、イチケンが施工した。参加組合員としてフーシャースコーポレーションと大京が参画している。

21日の竣工式で林理事長は「藍テラスを拠点に新たな

組合 青梅駅前地区再開発

ぎわいや交流が生まれ、さらに魅力ある街に発展することを中心から願う」と述べた。来日に着工し、26年3月31日に竣工した。

の大勢待利明市長は「建物の2階に子どもから高齢者まで楽しめる、新しいタイプの図書館を整備する」と今後の予定を話した。

所在地は本町1001ほか。JR青梅線青梅駅の南側に位置する。敷地面積は2297平方メートル。本体棟はRC造14階建て延べ1万2771平方メートルの規模。高さは47・6メートル。「駅前に近いいため、公衆災害防止に万全を期して建設した」と述べた。

施工規模は2棟総延べ1.3万²m²